

東日本大震災に関わる活動報告

千葉大学看護学部2年 塚田祐子

2011年3月11日東日本大震災発生

4月2日に宮城県仙台入り
仙台以南と石巻市の避難所アセスメント、マッチング、
中間支援を行う

被災者と専門NPOをつないで支えるプロジェクト
<つなプロ> 2011年4月～7月



石巻市立湊中学校のこと





震災復興リーダー右腕プロジェクトの存在

私がしたい「私の東北への関わり方」
って？
「将来、人が生きるということを支える看護師に
なるために、なるべく住民さんの側にいる。」

訪問看護ボランティアナースの会 キャンナス

<キャンナス東北>
東北統括リーダー補佐として活動

{避難所から仮設住宅へと暮らしは変化する}

- 8月頃から仮設住宅へ入居し始める
- 避難所は10月11日に全閉鎖
待機所へ
- 待機所は12月11日に全閉鎖
- もちろん自宅へ帰る人もいる

{仮設住宅の住民さんの声}

「やることなくずっとテレビを見ている」
「隣の家の話し声もよく聞こえる。ひそひそと暮らしているよ。」
「近所の自宅に住んでいる人と上手いかない」
「8月、9月になってだんだん辛くなってきた。今まではそんなでもなかったのに。」





2012年5月に石巻から引っ越し
東京と東北を往復しながらの活動へ。

<フリーのコーディネーターとして>

- ボランティアコーディネーター
- 漁業支援
- 中高ボランティアツアー企画
- ~ 考え 想い 発信するひとりになるための
ワークショップ ~
- miraiキャンプ
- ~ 福島と千葉の子供たちのための
ワークショップキャンプ ~



石巻市の「今」



今、被災地の健康問題はなにか？

- こころの健康(近づく3. 11)
- 病院まで車で30分以上
行く手段はない
- 進む高齢化の介護問題
- 訪問介護や訪問看護への抵抗

などなど

石巻で出会った一生大切にしたい
言葉

医療者は「居療者」である